

試聴会・訪問記掲載

河口無線冬のオーディオ三昧報告(2016.12.29)

河口無線では、ゴールデンウィーク、お盆休み、年末年始の休日などに合わせてオーディオ三昧という催しを行っています。本年もゴールデンウィーク、お盆休みに引き続き、冬のオーディオ三昧に行ってきました。開催要項は以下のとおりです。

2016年12月24日～2017年1月8日

※12月31日(土)～2017年1月4日(水)は店休日

時間：PM1:00～PM5:00

3F ハイファイデリティ試聴室

<ラインアップ>

【第一システム】



アダム スピーカーシステム COLUMN-MK3 ¥1,188,000 (ペア)



LUXMAN SACD プレーヤー D-08u ¥1,188,000



ラックスマン プリアンプ C-900U ¥1,188,000



ラックスマン パワーアンプ M-900U ¥1,188,000



Astell & Kern ネットワークオーディオプレーヤー AK500N (1TB)

【第二システム】



パイオニア スピーカーシステム Classic 7.0 ¥432,000 (ペア)



アキュフェーズ プリアンプ C-2850 ¥1,382,400



アキュフェーズ A級パワーアンプ A-47 ¥680,400



アキュフェーズ SACD プレーヤー DP-720 ¥1,188,000

【第三システム】



B&W スピーカーシステム 802D3 ¥3,672,000 (ペア)



ヴィオラ プリアンプ カデンツァ ¥2,700,000



ヴィオラ パワーアンプ シンフォニー ¥3,348,000



エソテリック SACD プレーヤー K-01X ¥1,566,000



タスカム ワードクロックジェネレーター CG-1000 ¥162,000



リン ネットワークオーディオプレーヤー AKURATE-DS-K ¥972,000

<試聴の経過>

三つのシステムとも CD を持参して自由に聴くことができました。

第一システム



今回、最も興味を惹かれたのは、このアダムの COLUMN-MK3 で、持参した CD の再生でウオームながら自然で誇張感のないプレイバックぶりに好感を持ちました。店の担当者によれば、非常に鳴らしやすいスピーカーとのことで、特段にケーブルやアクセサリーについての配慮はしていないそうです。また、Astell & Kern の一体型ネットワークプレーヤーAK500N も接続されていたので、192KHz24bitPCM 音源を聴いてみましたが、これも好印象を持ちました。

第二システム



ついで、ピエガの Classic 7.0 も総じて良い印象でしたが、高域を受け持つ、AMT（エアーモーショントランスフォーマー）と呼ばれるハイルドライバーの一種の特徴が強く出過ぎて、ところどころしゃくりあげるような印象が気になる場所でした。

第三システム

良くも悪しくもプレイヤーの K-01X の性格の広帯域ではあるのですが、潤い感が乏しいところがありました。AKURATE-DS-K も繋がれていましたので、ネットワークオーディオプレイヤーの音も聴きましたが、K-01X よりは好みの音になったものの、このシステムではエソテリック、LINN、B&W の個性がぶつかりあったような印象で、第一のシステムのような相互に融けあうような調和が見られませんでした。



以上